

TQ 技術ご案内

深い試練とひろい未来性

2011 年 9 月 11 日全面更新

有限会社ナック代表取締役

山田 ^{まなぶ}学 ©

試練と未来性

TQ 技術は、原始人の「アニミズム」や中国の「気功」に関連する文化です。と申し上げると、「ああ、B 級文化だね。」という反応も帰ってきそうです。TQ 技術は、物理的な装置による技術です。呪術や修行と関係ありません。と申し上げると、「さっき言ったことと、どうつながるの？」という疑問が帰ってくるでしょう。

そのあたりまえの疑問が、TQ 技術の深い試練であり、TQ 技術のひろい未来性です。

と申し上げると、「何が言いたいんだか ... ?」という投げやりな反応も帰ってきそうです。

TQ 技術は、この試練を正しく理解し、この未来性を正しく理解し、健康平和な人間社会へ深く貢献していく仲間づくりをしています。新技術運動の協会です。TQ 事業協会です。

原始人の「アニミズム」や中国の「気功」には、道德の面と認識の面と生理の面と物理の面があります。人はまず、その道德の面や認識の面や生理の面の印象が強く、また、欧米の数学や物理学や生理学より遅れた文化ではないか、という印象も強いのかもかもしれません。

原始人の「アニミズム」や中国の「気功」には、物理の面もあるのです。

この物理の面に、それとは知らずに、接近していたのが、TQ 技術です。

きっかけは、植物の花が開くときの条件を探るといって、1970 年ごろの名古屋大学の研究でした。TQ はその研究にて注目された、トコフェロール Tocopherol と キノン Quinone という物質の名前です。その後の技術革新により、今は、この物質そのものさえ必要としていませんが、名古屋大学の研究に敬意をこめ、TQ 技術と呼びつけています。

TQ 技術は、物理的な装置による技術です。呪術や修行と関係なく、原始人の「アニミズム」や中国の「気功」にもある物理の面へ接近し、しかも、それ

を利用する技術を確立していました。欧米の生理学の延長から、原始人や中国をまったく意識せず、偶然、そういう技術を確立していました。

ならば、この TQ 技術は、欧米の物理学や生理学からは、どう位置づけられるのか。

これを追究していくと、さらなる試練が、待ちかまえていました。

どうも今までの物理学は、TQ 技術をめぐる物理現象を、そういう確かな物理現象の存在を、理解しにくい構造となっているらしい。今までの物理学は、残念ながら、絶対ではなかった…。

これは、たいへんなことです。日本民族は、福沢諭吉以来、欧米の物理学や人権思想にあこがれてきました。それが絶対ではない、となると、今の日本民族は、思考が停止してしまうのです。しかも、日本列島において日本人が発明した、TQ 技術という、確立した技術をめぐり、それに接した日本人の思考の停止が、今、あります。わからない、という不安から、さしあたり、伝統の神道や日本仏教などにひきこもる人も、いるようです。

また、TQ 技術の存在を知った日本人の一部は、何とか TQ 技術に接近できないかと、独自にあれこれ研究しました。たとえ TQ 技術よりはるかに弱い効果でも、それを発見すると、「宇宙エネルギー」とか、「波動」とか、「マイナス・イオン」とか、実はまともな学問からの評価には耐えられない、それこそ、B 級文化の表現により、売り出そうとし、一攫千金を夢みてもいます。

TQ 技術という基礎技術は、確かに、健康や住居や食物流通や農業や環境といった、まさにこれから必要とされる分野において、ひろく深い応用の可能性を秘めています。そういう応用における技能と技術の開発は、これから百年以上も続く、と予想されるほどです。

技術が学問に先行して確立している、という困難。しかしこれは、よく考えてみれば、人間社会の歴史に、ありがちなことです。そもそも、産業革命の発端となった蒸気機関が、そうでした。

原始人の「アニミズム」や中国の「気功」にも、その物理の面において関連するという、基礎技術が、残念ながら、欧米の物理学の不充足さに先行して、確立している。この困難さの不安を、さしあたり落ち着かせたいのか、それこそ、B 級文化の表現により、俗な商いも、世間の一部にある。

このように、日本人が発明した、TQ 技術という、貴重な基礎技術が、正しく評価されず、いわば“隠されて”しまっている。

TQ 技術は、この試練を正しく理解し、この未来性を正しく理解し、健康平和な人間社会へ深く貢献していく仲間づくりをしています。新技術運動の協会です。TQ 事業協会です。

酵素活性場の予感

この試練を正しく理解し、この未来性を正しく理解し、健康平和な人間社会へ深く貢献していく仲間づくりをする。これはつまり、日本列島から次の社会を創っていくことです。B 級文化の俗な商い、どころではありません。諸民族の調和を開拓していくという、日本民族の新しい誇り。これを創っていきます。

TQ 事業協会には、たいへんな苦勞により、環境分野や、健康分野や、農業分野などにおいて協力してくださっている仲間が、すでにいます。しかし、まだまだ、手さぐりの状態です。

TQ 事業協会には、日本民族らしい教養の商いも必要です。健康平和に現実を認識していく思想と政策の表明。その最高の品質を最低の費用にて追求していく。日本語や円や地域通貨やプリペイド・カードやポイントの未来も考えていく。かえってインターネットや IT により、情報が混乱しています。世界学と認識学と言語学の最新の成果を踏え、人間社会の IT の情報の内容を分類し整理していくことも必要です。将来は、日本民族らしく研究しあう茶室のチェーンもほしいです。

TQ 事業協会を保護し推進するため、^{縄文}JOMON あか데미いというサイトを構築しています。www.jomaca.join-us.jp です。くりかえします。B 級文化の俗な商い、どころではありません。諸民族の調和を開拓していくという、日本民族の新しい誇り。これを創っていくのです。

少し変わったサイト名称の由来です。縄文遺跡に表明されている、原始人の生理観や物理観。それこそが、TQ 技術の生理学的な物理学的な本質 — に直結しているのではないか？ こういう予想です。縄文人は日本列島の原始人です。縄文人の「アニミズム」、それは、最新の認識学と生理学と物理学の成果を踏え、^{こうそかつせいば}〈酵素活性場の予感〉です。TQ 技術はその〈酵素活性場〉を調整する技術です。

北極星に注目し、地球の自転を想う。月の満ち欠けに注目し、月の公転を想う。へびの運動に注目し、大地に水平な姿勢という、人間進化の過去を想う。これが、縄文人にも学ぶ、素朴な自然観です。

^{せつげつか}雪月花。もののあはれ。日本民族には、自然などについて、繊細に感覚し表象する情念が、あります。これと、現在または未来の、物理学や生理学や認識学の概念を調和させていく。ここから、さまざまな有益なものごとが産れてくるのではないのでしょうか。

TQ 技術においても、学問の開拓、さらなる技能と技術の開発、商いの開発、商い、という流れがあります。これらをなめらかに発想し実行していく、交流

や組織や経営のあり方。それが TQ 事業協会という、新技術運動の協会の、まさにベンチャー事業の協会の、中心課題です。

原始人の部族内の調和から、五千年間の民族や階級の闘争があり、ようやく、人間社会全体の調和へ。遠い北極星のような、ひとすじの希望も、ないではない。日本列島からのこの希望は、縄文るねっさんすです。まず、闘争のための核兵器が必要ない情勢を、どう創っていくか。こちらの勢力にもあちらの勢力にもお金を貸し、こちらとあちらの戦争や紛争をそそのかし、漁夫の利を得る。世界の市場というものは、そういうこともあり、成長してきました。病的戦争な架空の認識の時代、でもありました。成長の戦略から、成熟の方針へ。健康平和な恋愛や出産や保育や教育や保健や看護や医療の、最高の品質を最低の費用にて追求していく。健康平和に現実を認識していく保健や芸術や規範や学問の、最高の品質を最低の費用にて追求していく。こういう方向へ、お金を融通する、銀行や郵便局などがほしいです。

生命促進性

空間には〈酵素活性場〉がある。原始人はそれを予感している。そこから太古の中国の陰性と陽性の思想も生れました。

陰は体内の状態です。体内のうち眉間みけんがさえることです。

陽は体内の状態です。体内のうち丹田たんでんに力がこもることです。

陰性とは自然の性格です。自然を無自覚に感覚すると、体内が陰になる、眉間みけんがさえるという、自然の性格です。

陽性とは自然の性格です。自然を無自覚に感覚すると、体内が陽になる、丹田たんでんに力がこもるといふ、自然の性格です。

夜の月と昼の太陽は、陰性と陽性です。

寒いと暑い、陰性と陽性です。

空と大地は、陰性と陽性です。

雨と晴れは、陰性と陽性です。

稲妻と強風は、陰性と陽性です。

海に代表される水と、山からの噴火に代表される火は、陰性と陽性です。

樹木にかこまれた山中と、塩気の多い海上は、陰性と陽性です。

定着している植物と、活動する動物は、陰性と陽性です。

鉛直と水平は、陰性と陽性です。

軽いと重い、陰性と陽性です。

柔いと硬い、陰性と陽性です。

冷いと熱い、陰性と陽性です。

辛いと苦いは、陰性と陽性です。
高音と低音は、陰性と陽性です。
紫と赤は、陰性と陽性です。
女性と男性は、陰性と陽性です。
大人と子どもは、陰性と陽性です。
死と生は、陰性と陽性です。

陰性と陽性という自然の性格のように、物質には〈生命促進性〉という物性、生命にもかかわる物理的な性質があります。

物質の〈生命促進性〉が変化すると、空間の〈酵素活性場〉が変化します。この原理を応用し、健康や住居や食物流通や農業や環境により善く貢献していく。これが TQ 技術です。TQ 事業協会という、新技術運動の協会は、さらに、TQ 技術以外へも呼びかけ、最終的には、食糧問題やエネルギー問題をも考えていきます。「アニミズム」にも、陰性陽性や「気功」にも、雪月花やもののあはれにも、将来の認識学や生理学や物理学にもかかわる TQ 技術。まずこの技術を、諸民族の調和への象徴としても、発達させる。これを起点として、最終的には、食糧問題やエネルギー問題をも考えていきます。

物質には〈生命促進性〉という物性、生命にもかかわる物理的な性質があります。

〈生命促進性〉には、質と向きと強さがあります。

TQ 技術の核心は、TQ 処理という工程です。TQ 処理装置という、物理的な装置を用います。この装置は、山田俊郎 (1926 ~ 1996) が発明しました。TQ 処理は、物質の〈生命促進性〉を変化させます。

たとえばここに、ある健康に良い物質があり、これを元の物質とします。次に、元の物質とは、化学的に無縁な物質があり、これを先の物質とします。ここでは、元の物質を、肝臓のための漢方薬としましょう。先の物質を、それとは化学的に無縁な、ステンレスとしましょう。元の物質、肝臓のための漢方薬を、TQ 処理装置の一部に置く。先の物質、ステンレスを、TQ 処理装置の他の部に置く。一定時間、TQ 処理装置に、きまった作動をさせる。

すると、何がどうなるか。

元の物質、肝臓のための漢方薬には、〈生命促進性〉の質があります。この質を、元の物質の型と呼びます。TQ 処理装置のきまった作動により、元の物質の型、〈生命促進性〉の質が、先の物質、ステンレスに、移るのです。ステンレスの〈生命促進性〉の質、先の物質の型が、元の物質の型、肝臓のための

漢方薬の〈生命促進性〉の質と、同じになるのです。とともに、元の物質も、先の物質も、その〈生命促進性〉の向きと強さが、健康に良い向きの、自然界においてもっとも強い状態となります。これらの結果は、半永久的に固定されます。プラスチック以外であり、TQ 処理装置を害さないものであれば、元の物質は、どんな固体でも液体でもよく、先の物質は、どんな固体でもよいです。

ステンレスなど、ありふれた物質の型、〈生命促進性〉の質を、肝臓のための漢方薬など、貴重な物質の型と同じにする。とともに、〈生命促進性〉の向きと強さを、健康に良い最強にする。元の物質と先の物質の組みあわせは、無数に考えられます。

TQ 処理により、このように物質の〈生命促進性〉を変化させる。この物質を、健康や住居や食物流通や農業や環境の分野において、適正な場所に配置すると、空間の〈酵素活性場〉を調整できる。原始人が生死にかかわるものとして予感したそれを、調整できる。この原理を応用していく、技能と技術の開発は、これから百年以上も続く、と予想されます。これが TQ 技術です。

TQ 処理という工程は、少なくとも、1993 年以来、失敗例が確認されていません。すでに確立されている、基礎技術なのです。

中国の医学を中医学と言います。中医学において、薬石やくせきと表現されているものは、天然の鉱物です。それに対し、TQ 処理は、人工薬石の生産であると、規定できます。TQ 技術は、〈気功の工業化〉であるとも、規定できます。

なお、生命に関する応用技術は、次のことをバランスよく考える必要があります。

〈酵素活性場〉を中心とする場。原子核。水蒸気。水。ミネラル。油脂。酵素。微生物。遺伝子。

今のバイオ研究は、遺伝子にとらわれすぎていないでしょうか。

また、興味深いことに、「UFO や宇宙人」の情報に関心が強い人々も、〈酵素活性場〉のようなことに注目する傾向があります。そこに、人間社会がまだ認識しきれていない、物理や生理の本質があるのではないのでしょうか。

JOMONあかでみいというサイト

TQ 技術を健康平和に社会化していくことの、たいへんな困難さ。その困難さを克服することによる、ひろく深い可能性。これゆえ、JOMON あかでみいというサイトに、実にさまざまな内容を準備する必要がありました。

『うらしま TQ たろう』（「店頭」画面）。TQ 技術は未来の文化です。今の子ども世代から“TQ 技術のエジソン”が出現することを祈りつつ、童話の形式にしました。

山田俊郎講演録 (同画面)。TQ 技術の開拓者が〈反骨の技術屋〉の息吹を公開した瞬間です。

「TQ 禅問答」(同画面)。TQ 技術の社会化の困難さを表明するため、禅問答の形式にしました。

『はじまる。』試読 (『はじまる。』画面)。JOMON あかでみいというサイトから、将来の、日本民族らしく研究しあう茶室のチェーンへ。日本社会の過去と未来を語りつつ、TQ 事業協会の方針を語ります。とくに、第五章「ひとつの現象」において、TQ 技術の歴史と展望について語っています。

“akarukunaruyone”(「歌声再生」画面)。素人のかすれた歌声の雑音入りの録音で、申しわけありません。健康平和な人間社会への絶望から、あえて、希望の呼吸を産み出そうとした。JOMON あかでみいというサイトを開始する決意、これを記念した録音です。

〈道德社のすすめ〉(「店頭」画面)。将来の、日本民族らしく研究しあう茶室のチェーンへ。ただし、道德談義の仮設の茶室は、皆さんが自由に設けてもよいのです。神社の起源をも想う、道德社のすすめ、です。

『生きることわざまんだらよ』(同画面)。コンピュータ社会において、日本語のことわざを活用しやすいように工夫した、文章と図解です。ことわざの素朴さは、TQ 技術の素朴さと、共通するかもしれません。

〈生産伝統の本質そして日本列島から次の社会を〉(同画面)。世界の資本制社会の問題をどう解決していけるのか。本格的な理論です。理解は容易ではありません。TQ 技術という未来の文化の具体化は、ここまで考え抜く必要があるのです。

「理念集」画面。未来への理念と理論を集めた画面です。健康平和運動のために。そして、情報分野において、環境分野において、学問や技術をどう発達させていくか。この画面の内容の読者は、一流の学者や思想家をも想定しています。この画面の内容のうち、〈わたくし紹介〉は、山田俊郎から TQ 技術の管理を継いだ山田 学の、文学的な自己紹介文です。「TQ 技術の理解へ」は、TQ 技術を学問的に解明していくため、一流の学者向けの、最先端の論文です。

〈健康平和研究〉画面。JOMON あかでみいというサイトに表明されている思索に対し、感想や質問や意見や修正案は自由です。表明されている情念に対し、感想や反発は自由です。皆さんとのひろく深いコミュニケーションのあり方を追求していく画面です。ただし、流行のブログやツイッターは、どこか軽すぎるとも感じるので、あえて、採用していません。

JOMON あかでみいというサイトには、ここで紹介していない内容もあります。すべて、TQ 技術を健康平和に社会化していくため、必要と思われる内容

です。

なお、このサイトの形式を、あえて、いわばプレハブ小屋のように、みすぼらしいままにしてあります。サイトを通した、集金や販売についても、そもそも、未来の商いや通貨とはどういうものか。こういう根本から、慎重の上にも慎重を期し、設計中です。日本語や円や地域通貨やプリペイド・カードやポイントの未来まで考えていく。流行のホームページのスタイルに満足しない、日本列島から次の社会を創っていくサイトとは、どういうものか。サイトの構造や機能や芸術や管理を、真剣に開発中なのです。

TQ事業協会

TQ 技術において、学問の開拓、さらなる技能と技術の開発、商いの開発、商い、という流れがあります。これらをなめらかに発想し実行していく、交流や組織や経営のあり方。それが TQ 事業協会という、新技術運動の協会の、まさにベンチャー事業の協会の、中心課題です。

既成の学問や社会慣習などにとらわれた、知識人より、素朴な一般人のほうが、TQ 技術の未来性、これを素直に予感してくださる傾向もあります。そういう一般人も大切にし、健康平和に現実を認識していく、未来派の学者や専門家が協力する、凜とした会合の積み重ね。これが TQ 事業協会です。TQ 技術をめぐるあれこれの体験談、ざっくばらんな質疑応答、TQ 事業を健全に発達させるための縦横無尽な討論 ...。

TQ 事業協会のため、TQ 事業協会運営部を組織します。初代運営部長は、山田 学です。山田 学が、「自分より運営部長に適任である。」と判断する人格を、発見すれば、その人格へ、運営部長を交替します。

TQ 技術の未来性に対し、社会の学問や法律などが追いついていない、という面もあります。わたしどもが実用品と考へても、実用品と公称することが、制限されることもあります。したがって、TQ 事業協会は、研究用品を、前面に押し出します。TQ 事業の健全な発達を、ひろく研究していただくためです。TQ 事業協会としては、新技術運動を強く推進するため、次のような研究用品を開発することが、夢です。先にご紹介した『うらしま TQ たろう』の p8 ~ 9 からです。

ティーキュー
T Q たろうさんは人生の最期においてぼくにひとつの願いを語りました。

「わどうかいうん〈和道開運〉という研究用品を創れ。T ティーキューしょりQ 処理した、きんぞく金属の板だ。
へいわ平和な あきな商いの いの祈り。やすらぎをまなぶ。試せばわかる。ため

わどうかいうん へいわ ついきゅう にほん みち あきな かいうん
〈和道開運〉とは、平和を追求する日本の道が商いとして開運していく
という意味。

にほんみんしゅう そぼく あそ きがん でんとう みらいてき
日本民衆の素朴な遊びどころある祈願グッズの伝統を未来的にデザインする。

がっこう りかじっけん そざい ティーキューしより
これはもうひとつの学校のおもしろ理科実験パネル。素材にT Q処理し
てあるから、お客さまに自由にT Q現象を実験していただく。

ほっきょくせい じょせい しょうちょう かがみ
そして北極星と女性を象徴する鏡としよう。
えん つうか わどうかいちん にほん あきな げんてん
円という通貨をどうしていくか。和同開珎という日本の商いの原点をも
反省しよう。」

日本社会の未来、やすらぎの開運グッズ、日本民衆の素朴さ、おもしろ理科
実験、縄文研究、地域通貨の未来、グラフィック・デザインと金属業の高水準。
こういうとびきりの総合開発が、夢です。

当面の研究用品としては、山田俊郎自身が有限会社ナックを設立したころに、
大量生産した、記念すべき『TQ 実験マカロニ』の、在庫販売も続いています。(超
特価販売)

『TQ実験マカロニ』資料請求先。郵便でもFAXでもメールでも可。

郵便 〒221-0822横浜市神奈川区西神奈川1-13-14-307 山田 学

FAX 045-319-0920

メール arigatou@image.ocn.ne.jp

むすび

TQ 技術ご案内のような、込み入ったお話は、日本社会の慣例としては、お
茶や、あるいはお酒などをくみかわし、おたがいの信頼関係をつくることが、
先決です。が、まずは書面にて、しかもインターネット上の公開という、“飛
び道具”にて、失礼いたします。